

図書館だより



no.243

2023(令和5)年10月11日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fcs.ed.jp/>



《イベントのご案内》



令和5年度 第3回 福島を生きる講座

「公年号と私年号—ふくしまの庶民間で生まれた「私年号」とは—

江戸時代には、朝廷が定めた「公年号」(元号)とは別に、庶民の間で「私年号」が生まれ、使用されることがありました。ふくしまで使われた例を取り上げながら、私年号について分かりやすく解説いただきます。

日時:10月22日(日) 14時から15時30分 (開場13時30分)

場所:福島県立図書館 第一研修室

申込:入場無料、事前申し込み制(定員40名)

いずれかの方法でお申込みください。

- ・窓口(総合案内カウンターで受付)
- ・電話(福島県立図書館 企画管理部:024-535-3220)
- ・予約フォーム(HPよりご確認ください)



《展示・おはなしかいのご案内》



〈企画展示〉福島県歴史資料館移動展示

「ふくしまの暦と元号

—会津暦と私年号を中心に—

江戸時代、ふくしまなど広域で用いられた「会津暦」や、「公年号」(元号)と別にふくしまで使われた「私年号」などを紹介します。

場所:企画展示コーナー

期間:10月6日(金)から11月1日(水)まで

ちいさなおはなしかい

絵本を読んだり、わらべ歌を歌ったりします。

ぜひお気軽にご参加ください

時間:午前10時30分~(15分程度)

対象:0~3歳の子どもと保護者の方

●開催予定日●



10月12日(木)・11月9日(木)

12月14日(木)・1月11日(木)



〈ミニ展示〉時代小説を楽しむ

~池波正太郎・司馬遼太郎生誕100周年~

今年は、池波正太郎さん、司馬遼太郎さんの生誕100周年の年です。これにちなんで、二人の作品や、作品を解説した資料を紹介します。

場所:公開図書室・蔵書検索コーナー

期間:11月1日(水)まで



〈ミニ展示〉ノーベル賞を知る

今年のノーベル賞の発表が10月2日から始まります。ここでは過去にノーベル賞について特集された雑誌をご紹介します。

場所:館内中央 雑誌展示コーナー

期間:11月1日(水)まで



新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『イン／ポライトネス からまる善意と悪意』滝浦 真人・椎名 美智／編 ひつじ書房 2023.4 801.03/タマ 234

悪態・悪口・皮肉・毒舌…等の「インポライトネス」な言葉を主題とした言語学の論集です。インポライトネス(impoliteness)とは、直訳すると「失礼」という意味。バラエティ番組の毒舌はなぜ受け入れられるのか？文学作品の会話に見る丁寧さに隠された意味とは？等を例に挙げ、私たちが日々行っているコミュニケーションに含まれる「インポライトネス」を解剖していきます。

『師弟百景 “技”をつないでいく職人という生き方』井上 理津子／著 辰巳出版 2023.3 502.1/イリ 233

人と人の関係にはそれに合った呼び名が付けられますが、「師弟」というとどこか特別感があります。日本文化が誇れる伝統工芸の職人、その師弟16組を取材すると、新時代の師弟の姿が見えてきました。

師匠自身が弟子だった頃の逸話もあれば、伝統技術の担い手が少なくなっている事情も垣間見え、古いイメージを捨て去った師弟関係の変容に気づかされます。弟子たちが仕事を「おもしろい」という現代的感覚こそが、伝統の継承には必要なのかもしれない。

『幕末維新史への招待』町田 明広／編 山川出版社 2023.4 210.58/マア 234

映像作品や漫画、ゲームなど幅広い分野でエンターテインメントとして扱われる幕末維新期。日本の歴史の中でも特に人気の時代だといわれています。しかし、世間に知られている通説と今日の研究成果では、その認識に大きな差異があることをご存じですか？本書は幕末維新史の研究者、総勢22名が各専門分野から研究上の到達点をわかりやすく論述します。

当時の諸勢力や社会状況、さらには国際環境など総合的な視点から歴史を描き出した関心を深める入門書です。

児童・児童図書研究

『「争い」入門』ニキー・ウォーカー／著、高月園子／訳 亜紀書房 2023.2 319/ウ(YA)

いまこの瞬間も世界のどこかで起きている紛争。その紛争を理解するためにはまず「争いの種」を見つける必要がある、という著者の考えに基づき、本書ではさまざまな視点から紛争を分析しています。

そもそもなぜ紛争は起きてしまうのか？なぜ敵と味方ができてしまうのか？そして「争い」が起きた時に、なぜ人間は紛争という手段に向かってしまうのか？「争い」の構造を知ることが「争い」を無くすことへの第一歩になるのかもしれない。紛争の無い平和な世界を目指すために、まずは「争い」について知ってみませんか？

雑誌・新聞

いま急速に世界に広まる生成AIについて特集のある雑誌をご紹介します。どうぞご活用ください。

『Newton』Z405/N1(第43巻第10号)

特集「ChatGPTの教科書」

『日経サイエンス』Z405/S3(第53巻第10号)

特集「大規模言語モデル 科学を変える AI いままでのAIと何が違う？」

『日経パソコン』Z548/N1(第920号)

特集「生成AIで検索が変わる！」

『企業実務』Z336/K1(第62巻第11号)

特集「敵か味方か…「生成AI」による働き方改革に備えよ」

『週刊ダイヤモンド』Z330.5/S7(第111巻30号)

特集「ChatGPT 100選」

地域

『福島県の万葉植物たち』湯澤 陽一／著

歴史春秋出版 2023.4 L911.1/Y40/1

万葉集ではさまざまな植物が詠まれています。本書ではそれら植物のうち、福島県に自生する植物と栽培されている種を取り上げ紹介しています。植物名ごとに、その植物が詠まれている歌を付しており、歌の意味や背景、植物の特徴などを解説し、写真も掲載しています。植物の写真をしながら歌の解説を読むことで、その歌の持つイメージがより鮮明に浮かび上がってくるのではないのでしょうか。

本書でぜひ万葉集の世界をお楽しみください。

『ふるさとに風が吹く 福島からの発信と地域ブランディングの明日』

箭内 道彦／著、河尻 亨一／著

朝日新聞出版 2023.5 LS/601/Y2/1

福島県の観光ポスターやCMを、あなたはいくつ見たことがありますか？この本では、福島県出身のクリエイティブディレクター、箭内道彦さんが手がけた福島の地域ブランディングから、地域振興と震災からの復興について考えます。きっと一度は目にしたことのあるポスターや動画それぞれの制作過程からは、「福島をクリエイティブの力で変えていきたい」と模索するひたむきさが伝わってきます。

地域振興に携わる方はもちろん、広報・マーケティングに関わる方にとっても読みごたえのある一冊です。